

成果の説明書

(氏名) 坪井 明彦	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
(1) 教育活動	
① 演習 I において、株式会社キャリコから、PBL の課題を設定してもらい、PBL に取り組んだ。具体的な内容は下記の 2 つ。 <ul style="list-style-type: none">・「吉本芸人と行く！ ぐんま就活バスツアー 柔軟な社風コース」(8 月 8 日開催) (主催：群馬県労働政策課、運営：株式会社キャリコ) の、運営協力。イベントのプロモーションや、当日のバスの中でのアトラクションとしてのクイズ作成などを担当した。参加者の満足度は高かったが、参加者の集客という点では課題があった。・前橋フリースペース (GITY) の周知のためのイベント企画と運営。 上記の課題に対して、「ピザとキャリアの交差点」と題して、11 月 7 日 (火) に、群馬県企業と学生の交流イベントを実施した。企業は 5 社の参加。学生は 30 名ほどの参加であった。	
(2) 研究活動	
日本ビジネス実務学会関東・東北ブロック研究会 (2024 年 2 月 17 日) において、パネル・ディスカッション「企業におけるビジネス実務教育—人材育成の取り組みと課題—」の企画及びコーディネーターを担当した。	
(3) 学会活動	
① 日本ビジネス実務学会における活動 日本ビジネス実務学会副会長として、日本ビジネス実務学会の運営に尽力した。また、編集委員として、『ビジネス実務論集 No42』(2024 年 3 月発行) の、査読や審査に尽力した。また、全国大会における個別研究発表の座長を務めた。 関東・東北ブロックのブロックリーダーとして、ブロック研究会・総会における準備や当日の運営を務めた。	
② 日本地域政策学会における活動 支部活動組織委員長 (常任理事) として、学会運営のために尽力した。	
③ 日本経営診断学会における活動 大会運営委員会・委員長としてとして、2023 年度の全国大会 (10 月 7~8 日：法政大学) の企画、準備、運営など学会運営のために尽力した。	
2 その他の事項 特になし	
3 次年度以降の計画・抱負	
(1) 2024 年度においても、ゼミ活動を通じた PBL に取り組むことと地域活性化に貢献するような教育・研究に取り組んでいきたい。その課題に取り組む中で地域貢献を果たすと共に学生の社会人基礎力と呼ばれるような様々な能力の向上を目指していく。具体的には、群馬県渋川市との連携事業「中心市街地活性化のための調査業務」を受託予定であり、	

- ・ 中心市街地活性化のための調査
 - ・ 中心市街地活性化に向けた提言
 - ・ 駅前イベント広場の活用案の提言
- 等を行う予定である。

(2) 学会活動においては、日本ビジネス実務学会で関東・東北ブロックの責任者として、ブロック研究会の企画・準備・運営に尽力したい。また、日本経営診断学会において、大会運営委員長（理事）として、2024年度全国大会（10月12～13日：愛知工業大学）の企画・準備に尽力したい。